

令和 2 年 6 月 10 日現在

機関番号：34316

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K13296

研究課題名（和文）ブラジルにおける地域経済発展と地域主体の役割に関する研究

研究課題名（英文）Study on the Regional Economic Development and the Role of Local Actors in Brazil

研究代表者

河合 沙織 (Kawai, Saori)

龍谷大学・国際学部・准教授

研究者番号：60734499

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、格差の縮小をともなう経済発展を遂げた2000年代のブラジルに着目し、地域経済の発展パターンについて質的かつ量的な検討を行った。ローカルに展開されるボトムアップ型の開発形態について、ブラジルでは行政レベルにおける制度面での整備や実施主体間のネットワーク化が進んでいることが明らかとなった。くわえて、市町村に該当する基礎自治体「ムニシピオ」の単位で実証分析を行うことで、グローバルな市場とのつながりや大都市であるかどうか、住民の年齢構成、宗教的多様性や治安といった要因が地域単位で投票行動を特徴付けるとともに、地域経済発展に影響を及ぼすことを示唆する研究結果を導き出した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ブラジルを対象とした本研究において、中央政府主体のトップダウン型地域開発政策のみならず、地方分権化や市民社会の成熟により可能となる地域経済の担い手である多様なアクターの実践に注目し、地域経済発展に関する研究成果を公開し始めたことは大きな学術的・社会的意義をもつ。また、事例研究に留まりがちなボトムアップ型あるいはローカルレベルでの市民参加や社会運動を、経済的・社会的・政治的特徴を集計したデータベースと併せて全国・地域別に位置づけることで、地域固有の要因や共通する要因の計量的検証が可能となる研究の端緒を開いた。

研究成果の概要（英文）：This project has explored the development pattern of Brazil's regional economy in the decade of 2000, which experienced economic growth with narrowing inequality. This project has shed fresh light on the role of local actors in development from the bottom-up, institutional improvement at federal, state, and municipal governments, and the networks between these actors. This project also highlights the several characteristics of municipalities on regional economic growth, such as access to the global market, size of the city, demographic structure, social diversity, and public security.

研究分野：ラテンアメリカ地域研究

キーワード：地域経済発展 ブラジル 地域主体

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

#### 1. 研究開始当初の背景

ブラジルには歴史的に根強い地域間格差が存在する。2000年代以降、ブラジルの伝統的な課題である格差問題に変化が生じ、貧困削減、国内の所得格差、地域間格差の縮小と従来の経済的中心地域以外の地域での経済活動の拡大が確認された。

経済活動の空間的な分散が生じた背景には、(a) グローバル化とマクロ経済安定化の流れの中での産業立地の変化、(b) 社会政策や信用市場拡大にともなう地域経済市場の拡大と雇用の創出、(c) ローカルな制度的変化と参加型イニシアチブなどのガバナンス改革があげられる。これらは、地域ごとのポテンシャルを生かした開発戦略の策定や公共政策の実施を通じて地域経済の発展パターンに影響をおよぼしている。地域経済の発展は、都市化が進む途上国における持続可能な経済発展の観点ならびに地方創生を通じた経済・社会の活性化を図る先進国の課題にも直結する問題として注目される。

#### 2. 研究の目的

地方創生は先進国に限った問題ではない。国内における所得格差や地域間格差は、階層間の対立など社会不安の原因となり持続的成長を阻害する。都市化が進む発展途上国においても、主要都市のみならず地方における地域経済の発展と統合は長期的な成長を実現する上で不可欠であるが、それを実現する手段は未だ模索過程にある。本研究の目的は、格差の縮小をともなう経済成長を遂げた2000年代のブラジルに着目し、地域経済の発展パターンについて質的かつ量的な検討を行うことである。

#### 3. 研究の方法

本研究は、2000年代のブラジルにおける地域経済の動向に関する定量的かつ定性的分析を行い、地域経済の発展に寄与しうる要因を明らかにする。本研究は以下の3つの課題から構成される。

- (1) 地域経済の発展パターンの類型化：地域経済の分類
- (2) 地域主体・参加型イニシアチブの役割と効果：アクター、プロセスの検討
- (3) 地域経済発展に関する実証分析：マクロレベル・ローカルレベル両要因による検証

#### 4. 研究成果

本研究では、格差の縮小をともなう経済発展を遂げた2000年代のブラジルに着目し、地域経済の発展パターンについて質的かつ量的な検討を行った。ローカルに展開されるボトムアップ型の開発形態について、ブラジルでは行政レベルにおける制度面での整備や実施主体間のネットワーク化が進んでいることが明らかとなった。とりわけ、参加型予算発祥の地でもあるブラジル南部リオグランデスル州ポルトアレグレ市は、国内でも有数のコミュニティ開発の事例を有している。その背景には、ヨーロッパ系の移民の多さやカトリック教会等宗教団体の支援、労働組合などによる社会運動の蓄積が指摘される。こうした地域主体の属性はアクター間のネットワーク化を促すとともに、ローカルな活動から国内および国際的な地域主体のネットワーク化を通じてさまざまなレベルでの地域経済発展に貢献しうる可能性を提示する。

くわえて、市町村に該当する基礎自治体「ムニシピオ」の単位で実証分析を行うことで、グローバルな市場とのつながりや大都市であるかどうか、住民の年齢構成、宗教的多様性や治安といった要因が地域単位で投票行動を特徴付けるとともに、地域経済発展に影響を及ぼすことを示唆する研究結果を導き出した。

また、本研究を通して、「地域単位」を鍵にブラジル地理統計院（IBGE）が実施するセンサス、全国家計サンプル調査（PNAD）、労働雇用省（MTE）の社会情報年間統計（RAIS）、開発商工省（MDIC）の貿易データ、社会開発・飢餓対策省（MDS）の社会政策データ、財務省国庫局（STN）の財務データ、教育省（MEC）の教育統計などさまざまな省庁が主管する統計資料を統合したデータベースを作成した。同データベースは、ブラジルの地域経済を包括的かつ多角的に捉え、その特徴を明らかにする上でさまざまな可能性を有しており、今後の研究課題の追究や計量分析の拡張の基礎となる研究成果である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 浜口伸明・河合沙織	4. 巻 216
2. 論文標題 ブラジル有権者の急な右旋回：市データを用いた2018年大統領選挙の分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河合沙織	4. 巻 1645
2. 論文標題 プロテストが映すブラジル経済の構造的課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ブラジル特報	6. 最初と最後の頁 5-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河合沙織	4. 巻 21
2. 論文標題 ブラジルにおける地域経済発展と社会的連帯経済	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 龍谷大学国際社会文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 65-89
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 Kawai, S.
2. 発表標題 A Repentina Virada a Direita na Política Brasileira: Uma Análise a Partir dos Dados Municipais das Eleições Presidenciais de 2018
3. 学会等名 Aula Inaugural do Programa de Pós-Graduação em Sociologia Política, Universidade Cândido Mendes (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hamaguchi, N., & Kawai, S.
2. 発表標題 Voters of Bolsonaro: Some Evidences from Municipal Data
3. 学会等名 International Symposium "Political and Economic Factors Shaping Latin America in the Next Decade -Argentina, Brazil, Mexico and Comparison with East Asia-", Waseda University, March 8, 2019. (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 河合沙織	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国際書院	5. 総ページ数 217-247
3. 書名 「ブラジルにおける経済発展と格差縮小の要因」浜口 伸明編 『ラテンアメリカ所得格差論：歴史的起源・グローバル化・社会政策』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考